

生徒会新聞

生徒会専門部の紹介

7月
—
広報部

学級統括部について

学級統括部では、各クラスのリーダーとして集まった部員達がそれぞれのクラスのために行動している。

例えばクラスに配布する配布物を取りに行ったり、決めるなどで指揮をとるなどである。そのほかにも行事などで人手不足の時は臨時の運営係としても仕事をしている。

学級内、クラスでの諸問題や、学校に対し、もっとこうして欲しいなどといった生徒の要望を解決するために学級統括部は活動を続けている。

この人の証言を見るだけでは、誰が犯人かたどり着くことは出来ない。しかし、証言の前には不自然な矢印が、その矢印の方向に文章を読んでいくと「マミが犯人」となる。

学級統括部長： さんより

「全部で三十八クラスあるこの学校のクラス一つ一つが充実した学校生活を送れるような雰囲気を作れるように、学級統括部長として尽力させていただきます。何かご不満な点がございましたら是非とも学級統括部を頼ってください。どうぞよろしくお願いします。」

生徒会長より

生徒会長 さんより

「みなさん、こんにちは。生徒会長の...」です。一学期は四月の新生歓迎会、六月の体育祭、七月のオープンキャンパスと本当にたくさんの方にご協力をいただきました。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございます。

規律意識や常識概念など、考えることの尽きない学期でしたが、少しずつ改革を進め学校とともに成長していきたいと思っております。

賛否あることではあると思いますが、個性を發揮することは、新しい自分を発見することにも繋がります。ですから、同じ制服を着る同級生や街ですれ違う人達に誇れるような自分に誇れる自分なのであれば、私はそれでいいと思います。学校を誇る前に自分自身を誇れるようになるために、生徒会は皆さんがあらゆる挑戦や刺激を得られるよう努めていきますので、是非二学期からも色々なイベントや活動に参加してみてください！みなさんのご参加をお待ちしております！」

環境衛生部について

環境衛生部の活動は、毎日の消毒点検・消毒液の補充、掃除用具の整備とゴミの分別管理、毎学期の大掃除の指示などである。

消毒液は、コロナウイルスに感染しないための予防対策として、各クラスに配置されているポンプ型の消毒液が無くならないように、毎日の点検・補充を行っている。体育祭の際には、消毒液を持って各組の待機場所へ行き消毒を回った。

また、体育祭後には観客席のゴミ集め・清掃や落とし物の

環境衛生部の活動は、毎日がないかの点検作業を行った。ゴミの分別管理は、全校を通して出来ていないため、改善策を考え、ゴミ収集場の前に立ちゴミ袋の点検・注意喚起などを行なっている。

環境衛生部長 さんより

「こんにちは。環境衛生部の...です。放送でもお知らせしましたが、現在のゴミ分別の状況はかなりよくない状況です。現状、ゴミ分別は右下の写真のような状態です。」

運営部について

運営部では、学校説明会や学校のオープンキャンパス、入学式、新生歓迎会などを生徒会本部役員会と連携して、実行役として活動するために、おおむね毎週火曜日に委員会を開き計画を練っている。具体的には学校説明会、中学校のオープンキャンパスの時のお手伝いで、私たちが普段使っている校舎を案内したり、質問コーナーの対応をしたりするのが主な活動内容だ。

生徒会運営部は学校全体の運営に携わっている仕事で、体育祭実行委員会や、文化祭実行委

員会などの臨時特別委員会や、他部署への助力など生徒会組織内全体の凡庸的な業務を行う。例えば、生徒会環境衛生部など、他の部署の援助や補助役をする。また、生徒会広報部との連携も計画していて、実行する予定である。

さらに、運営部主催の企画事も考案中である。こちらは、非常に楽しみなものであり、二〇二〇年に産声を上げた品川翔英高等学校、品川翔英中学校のさらなる発展のためにも良い企画を作って欲しいと思う。」



よろしくお願いします



①の問題点はペットボトルのラベルとキャップを分けて分別して
いない点です。

行ってくれる人がいなければ
環境を汚すことになります。
みなさん一人一人がゴミ分
別の意識をしっかりと持つこと
が大切です。

③の問題点は可燃ごみに弁当な
どのゴミやペットボトルが可燃ご
みに捨てられている点です。そし
てこれらの写真のゴミは一部の生
徒と環境衛生部と用務員さんで全
て分別しています。

ゴミ分別は社会の常識であ
り、マナーですが、そこにと
どまらずゴミ分別の大切さを
知った上で、ゴミ分別をして
いただきたいと思いま
す。もう一度自分の行動を
よく見直した上で、ゴミ分別
に協力をお願いします。」

みなさんがしっかりと分別して捨
てなかったゴミは僕たちが手を汚
して分別することになるように、
分別しないことは誰かに迷惑をか
けることとなりますし、それを

夏の謎解き

ナミが路上にある階段を降りる際
何者かに突き落とされた。以下は
彼女の知人3人の証言である。しか
しどうやらこの中に犯人が居るよ
うだ。君はこの謎が解けるか？

↓

マミ:へえ～あいつがね～。まあ、
みんなあいつのこと嫌いだったし誰か
が我慢の限界迎えたんじゃない？
ハンナ:私は家で1人でした。え...う
ん...犯人は検討が付きませんね...
ニコ:え～?!マジ?!こりゃびっくり!
ん～犯人か～わからん!

答えは新聞内に隠されている!

夏の読書に司書の宇井先生が

おすすめしたい本



『ぼくはイエローでホワイトで、
ちょっとブルー』ブ
レイデイみかこ著 新潮社

『AIvs.教科書の読めない子
どもたち』新井紀子著 東洋
経済新報社

AIの技術が発展し、五年後
には多くの職業がなくなる
と言われていきます。私達
は、人間でなければ出来な
い仕事ができる人にならな
ければなりません。でも、
そのために必要な読力の
ない子どもが多いそうで
す。あなたは大丈夫？



あとがき

今月も生徒会の各部のみなさん
が、たくさん活動をしてくださ
いました。ありがとうございました。
特に七月十八日に行われた中学
オープンキャンパスでは、運営部
の方、ボランティアのみなさんはもち
ろ、各部活動の方が体験を行って
いました。どの部活もこの日のため
にたくさん準備をしてくいて、
受験生の方々が楽しめる企画をして
いました。体験を終えた受験生の方
の顔も笑顔でした。
長いようで短かった一学期も七月
二十一日に終業式を迎えました。み
なさんにとって一学期はどのような
日々でしたか。廊下を通っている
と、どのクラスも笑い声が聞こえ
て、楽しそうな雰囲気が伝わって
きました。
二学期は九月一日からです。夏休
みの間にしかできないことを堪能し
つつ、メンターウィークやラーニン
グセンターを活用して、二学期から
の学習に備えましょう。一学期お疲
れさまでした。

令和3年度7月25日発行

写真、編集

生徒会広報部